

2022年6月13日

小児がん拠点病院連絡協議会

第16回小児がん拠点病院連絡協議会 近畿ブロックの取り組み

近畿ブロック小児がん拠点病院連絡協議会

近畿ブロックの連携病院 (類型1:地域の小児がん診療 18施設)

*:複数の拠点病院と連携

		京都大学 (7施設)	京都府立 医科大学 (5施設)	大阪市立総合 医療センター (10施設)	兵庫県立 こども病院 (2施設)	
福井	福井大学	○				1
滋賀	滋賀医科大学*	○	○			3
	大津赤十字病院	○				
	近江八幡市立総合医療センター		○			
京都	京都市立病院		○			1
大阪	北野病院*	○		○		7
	大阪赤十字病院*	○		○		
	近畿大学			○		
	大阪市立大学			○		
	大阪大学			○		
	大阪母子医療センター			○		
	関西医科大学			○		
奈良	奈良県立医科大学			○		1
和歌山	日赤和歌山医療センター*	○		○		2
	和歌山県立医科大学			○		
兵庫	県立尼崎総合医療センター*	○			○	2
	神戸大学				○	
岐阜	岐阜市民病院		○			1

近畿ブロックの連携病院 (類型2:特定がん種の診療を行う 3施設)

		京都大学 (1施設)	京都府立 医科大学 (なし)	大阪市立総合 医療センター (なし)	兵庫県立 こども病院 (2施設)	
福井	福井県立病院 (陽子線治 療)	○				1
兵庫	兵庫県立がんセンター (軟部腫瘍な ど)				○	2
	神戸陽子線センター (陽子線治療)				○	

近畿ブロックの連携病院 (類型3:長期の診療体制の強化 11施設)

		京都大学 (4施設)	京都府 立 医科大 学 (3施 設)	大阪市立総合 医療センター (1施設)	兵庫県立 こども病院 (6施設)	
福井	福井赤十字	○				1
京都	京都桂病院	○				2
	国立病院機構舞鶴医療センタ ー		○			
大阪	松下記念病院		○			1
奈良	天理よろづ相談所病院	○				1
兵庫	明石市民病院*		○		○	6
	加古川市立中央市民病院				○	
	西神戸医療センター*	○			○	
	姫路赤十字病院				○	
	北播磨総合医療センター				○	
	兵庫医科大学*			○	○	

*:複数の拠点病院と連携

近畿ブロック連絡協議会の構成

拠点病院

連携病院

京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
大阪市立総合医療センター
兵庫県立こども病院

福井	福井大学医学部附属病院	滋賀	滋賀医科大学附属病院
	福井赤十字病院		大津赤十字病院
	福井県立病院		近江八幡市立総合医療センター
奈良	奈良県立医科大学附属病院	和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
	天理よろづ相談所病院		日本赤十字社和歌山医療センター
京都	国立病院機構舞鶴医療センター	兵庫	神戸大学医学部附属病院
	京都市立病院		兵庫医科大学病院
	京都桂病院		兵庫県立尼崎総合医療センター
大阪	大阪大学医学部附属病院		神戸陽子線センター
	大阪市立大学医学部附属病院		兵庫県立がんセンター
	近畿大学医学部附属病院		西神戸医療センター
	大阪母子医療センター		明石市立市民病院
	大阪赤十字病院		北播磨総合医療センター
	北野病院		加古川中央市民病院
	松下記念病院		姫路赤十字病院
	関西医科大学	岐阜	岐阜市民病院

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 (令和3年度)

日時	概要
2021年8月23日 (Web開催)	第1回近畿ブロック小児がん医療提供体制協議会 地域計画進捗、拠点病院報告、連携取り組み、 患者ニーズ調査の提案
2022年2月12日 (神戸大学Web開催)	第44回近畿小児血液・がん研究会
2022年2月25日 (Web開催)	第2回近畿ブロック小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院の指定結果 令和3年度小児がん地域計画について 小児がん患者家族ニーズ調査事業開始について 高次脳機能評価対象脳腫瘍CCSの紹介受入計画について

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 (令和4年度予定)

日時	概要
2022年8月末 (オンライン)	第1回近畿ブロック小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院指定手順に関する連絡 小児がん地域計画の進捗状況の報告 小児がん患者家族ニーズ調査事業の進捗
2023年2月〇日 (オンライン)	第45回近畿小児血液・がん研究会
2023年2月〇日 (オンライン)	第2回近畿小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院の指定 小児がん地域計画の進捗 令和5年度地域計画

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会—

目標: ブロック内の小児がん看護の質の向上、連携強化

令和3年度担当施設: 京都大学医学部附属病院

(1) 定期会議参加: 5施設(拠点病院4施設と協力病院1施設)

- ① 令和3年5月19日(水) オンライン会議: 5施設 コロナ禍における各施設の現状についての情報共有等
- ② 令和3年10月19日(木) オンライン会議: 5施設 ユニツキシンの治療についての情報共有等
- ③ 令和4年3月17日(木) オンライン会議: 5施設 家族面会・付き添い・食器類や配茶等の取り扱いについての情報共有等

(2) 小児がん看護研修会の5施設共催: 視聴回数398回、アンケート回答数57件

近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会主催小児がん看護研修会

- 1) 日程: 令和4年1月21日～2月10日(YouTubeオンデマンド)
- 2) 研修会テーマ: 小児・若年がん患者の妊孕性温存における看護
- 3) 研修会講師: 京都大学医学部附属病院 医師、がん看護専門看護師、小児看護専門看護師、看護師
- 4) 研修会目的: 小児がん看護に必要な小児・若年がん患者の妊孕性温存に関する専門的知識を習得し、主体的に実践できる人材を育成する。
- 5) 内容: ①小児がんの子どもの晩期合併症について(30分)
 - ②小児・若年女性のがん患者における妊孕性温存療法について(30分)
 - ③小児・若年男性のがん患者における精子保存について(20分)
 - ④小児・若年女性のがん患者における小児看護に携わる看護師の役割(20分)
 - ⑤小児・若年女性のがん患者における妊孕性温存における看護①②(各20分)

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —近畿小児血液・がん研究会看護部門—

目的:小児血液・がんの子どもとその家族の生活の質の向上と、臨床的研究や知見・情報の交換、討議を通じて看護実践および研究の発展と向上に寄与すること

(1) 定例会

従来は、年に5回(5・7・9・11・1・3月)開催、近畿圏の16施設(拠点病院4施設含む)が参加。

令和3年度は全てオンライン会議で開催。

令和3年度は、COVID-19のため、近畿小児血液・がん研究会看護部門としての学会等での発表はなし。

(2) 講演会の主催

令和3年度は、7月に開催。

担当施設:近畿大学病院

講師:大阪大学病院 産科医師

テーマは、「AYA世代の患者の妊孕性温存について」

近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会 活動報告 —相談支援部門—

(1) 小児がん拠点病院相談支援部会:2021年5月28日、2021年12月10日

(2) 近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会主催小児がん相談員研修会開催

日 時 : 2021年10月15日(金) 14時~16時 Web開催(ZOOM)

講演内容 : 小児・AYA世代患者の全人的苦痛の理解とチームアプローチ
大阪市立総合医療センター
緩和医療科部長/緩和ケアセンター長 多田羅竜平先生

民間のオンライン院内学級の取り組みと進路選択の支援
オンライン院内学級KAYOUプロジェクト 代表 西岡真由美氏

障がいや病気を持った方の就労について
BRANCPORT合同会社 代表 宇野翔太氏

◆意見交流

◆AYA世代病棟リモート見学ツアー

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (診療体制)

目標	2022年度に取り組むこと
<p>■がん治療 各拠点病院が所在する府県及び拠点病院のない近隣県に対する先導的役割を果たし、再発■難治例、診療を集約すべき特定のがん種(脳腫瘍や骨軟部腫瘍等)といった均てん化ができない症例の診療にかかわる。均てん化が可能ながん種については、拠点病院と連携病院で連携することで最適な診療を提供する。</p> <p>■晩期合併症対策 必要とするすべての小児がん経験者に対し、成人診療医療機関を含めた地域連携により、適切な長期フォローアップを行う。</p> <p>■生殖機能温存 すべての患者と家族に治療の妊孕性への影響についての情報提供を行うと同時に、妊孕性を確保するための体制を整備する。</p> <p>■啓蒙、啓発活動 毎年、患者、経験者、家族を対象とした情報提供や啓蒙のための活動が行われている。</p>	<p>連携病院で発生した均てん化が難しい症例(再発・難治例あるいは診療を集約すべき特定のがん種)について、カンファレンスやセカンドオピニオンなどにより、拠点病院が把握できる体制を整備する。また、AYA世代を含む脳腫瘍・骨軟部腫瘍については、成人診療機関との連携を進める。</p> <p>医療の質の指標として、拠点病院と連携病院でQIの算定を行う。また、患者満足度を評価する体制の整備を進める。移行期医療推進センターの利用、長期フォローアップパンフレットの共有等を通じて、AYA世代の連携・フォローアップを強化する</p> <p>リハビリテーションと生殖機能温存治療依頼診療機関情報をバージョンアップし、紹介可能な紹介先を提供する。</p> <p>ニーズを測りつつ、Web開催等で、小児がんに関する一般・患者家族向けの講演会を実施する。</p>

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (人材育成)

目標	2021年度に取り組むこと
<p>活発な人材交流がなされている。 幅広い分野(小児がん看護、緩和ケア)に対する研修が開催されている。</p>	<p>施設をまたぐ人の入れ替わりは難しいことから、研修会の実施やWebセミナーの拡充による人材育成を目指す。</p> <p>各地区で全連携病院が参加する症例検討会・研究会を年間3回程度開催する。</p>

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (相談支援)

目標	2021年度に取り組むこと
患者の求める情報を提示し、適切な医療や支援の提供につなげることが出来る。	<p>相談支援について、それぞれの地区で連携病院が拠点病院に相談できる体制を作る。</p> <p>就労支援に関して、研修会を行うなど、拠点・連携病院における体制整備を進める。</p> <p>拠点病院が連携病院からのセカンド・オピニオンを積極的に受け入れる。また、各病院の実績を把握する</p>

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (臨床研究)

目標	2021年度に取り組むこと
オールジャパン体制の臨床研究を推進する協力体制が整備されている。	<p>地域ブロックにおいて実施されている治験を主とした臨床研究についての情報共有や、ブロック内で積極的な患者紹介を継続する。</p> <p>拠点・連携各病院における治験の受け入れ・紹介実績を把握する。</p>

今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (その他重点的に取り組んでいること)

- ①がん患者の療養生活の質
- ②患者の発育・教育等に関して必要な環境整備

目標	2021年度に取り組むこと
①在宅医療を含めた充実した終末期医療を受けられる。 ②療養中においても継続して教育を受けることができる。	2020年度に作成・共有した 在宅医療依頼施設の情報 をバージョンアップする 終末期医療に関する好事例の拠点病院や連携病院間での情報共有を継続する。 ICT活用など様々な方法による療養患者への 教育提供 プロジェクトを進める 大阪府で実施した患者家族ニーズ調査をブロック内に拡大し、アンメットニーズへの対応を検討する。